

「風と流れのプラットフォーム」体験学習会

－円柱周りの速度，圧力分布計測－

東北大学流体科学研究所ではこれまで「共用促進事業」を通じて、施設を利用してみようと考える際にキーとなる試験方法、基本的な計測技術等を具体的に理解して頂く機会を提供することを目的として、年4回、体験学習会を企画して参りました。

同事業が平成28年度より「風と流れのプラットフォーム」(*)に発展したことに伴い、本年度は、利用者の技術向上を目的として、「平成28年度東北地区国立大学法人等技術職員研修」を一部開放し、下記の通り「体験学習会」として実施いたします。

風洞実験を行う際に必要になる基本的な原理と、実際に実験・計測を行う時、どのような点に気をつけなければいけないのか、どういった結果が得られるのか、体験してもらえない数少ない機会かと思えます。これから風洞試験に携わる予定の方、風洞施設利用に興味をお持ちの方には是非一度ご出席頂きたいと思っております。

(*)「風と流れのプラットフォーム」：<http://www.jamstec.go.jp/ceist/kazenagare-pf/>

記

日 時：平成28年9月15日（木曜日）午前9時～16日（金曜日）午前11時まで
（初日のみの参加も可能です。申し込み時にご連絡ください）

場 所：東北大学片平キャンパス、流体科学研究所 2号館5階大講義室
（次ページ地図参照）

対 象：風洞試験未経験者～初心者

定 員：5名程度

題 目：円柱周りの速度，圧力分布計測

内容：流体計測においてもっとも基本となる圧力計測について、広く知られている円柱回りの流れを実際に計測し、円柱に働く抗力を求める。

第1部 9月15日9時～12時（流体科学研究所 2号館5階大講義室）

講義「風洞実験における圧力計測

講師：東北大学流体科学研究所 教授 永井大樹

第2部 9月15日13時～17時（流体科学研究所 低乱風洞実験室）

実技A:ピトー管を用いた後流速度分布計測

実技B:静圧孔を用いた円柱表面静圧分布計測

第3部 9月16日9時～11時

実技で得られたデータ処理

油膜法による流れの可視化（時間などの都合で省略する場合がございます。ご了承ください）

申し込み方法

- ① 氏名、②会社名、③連絡用電話番号、 ④メールアドレス、⑤風洞試験経験有無、⑥参加希望日時 (例) 2部のみ など
を明記して、以下のアドレスまでメールにて申し込みください。

次世代流動実験センター共用リエゾン室 : afx-liaison@edge.ifs.tohoku.ac.jp

申し込み期限：8月31日(水)

希望者多数の場合は、人数調整をさせていただきます。結果については、9/2までにご連絡致します。ご希望に添えなかった場合はご了承ください。

集合場所：流体科学研究所 2号館 5階大講義室 (No.40)

